



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

May, 1984

II-11

THEME (1983~'84)

- I. P. REACHING OUT
 "手を差し伸べて"
- R. D. CREATIVE POWER
 "創造への熱情"
- D. G. 兄弟の愛をもって
- P. ONWARD CENTENNIAL
 PART II

▽「リーダートレーニング」強調月間—〈日本区〉

5月例会・プログラム

とき	5月16日(水) 18:30~20:30
ところ	大阪YMCA会館 9階集会室
司会	森 庄司君
1. 開会	山中 会長
2. ワイズソング	"Once More We Stand"
3. 聖句朗読	上月 英子姉
4. ゲスト紹介	山中 会長
5. 食前感謝「日々の糧を」	乾杯 晩さん
6. ゲストスピーチ「オリンピックよもやま話」	メルボルンオリンピック優勝者 古川 勝氏
7. IBC・ヌアヌクラブ訪問チーム壮行会	
8. 誕生日のお祝い	山中 会長
9. ニコニコ・アワー	
10. 役員会・委員会報告・YMCAニュース	
11. 閉会	
▼例会当番(上月・鈴木・中村・堀・森・横山)	

▽誕生日おめでとう

藤井 栄子	メネット	5月8日
川越 さつき	メネット	5月16日
桂 晴子	メネット	5月17日
山田 道子	メネット	5月21日

▽結婚記念日おめでとう

坂口 芳良・久代	夫妻	5月2日
山中 秀男・ちあき	夫妻	5月3日
川越 利信・さつき	夫妻	5月11日
森 庄司・晴美	夫妻	5月11日

All Scripture is Godbreathed and is useful for teaching, rebuking, correcting and training in righteousness, so that the man of God may be thoroughly equipped for every good work.

聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれており、教え、戒め、誤りを正し、正しい生活の訓練をするうえで有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行なうことができるように、じゅうぶんに整えられるのです。

(ティモテオスへの手紙 II 第3章16~17節)

4月例会 出席者 (在籍会員 34名)

	第1例会	第2例会	Make up	累計
メ ン	18名	14名	4名	22名
出席率	52.94%			64.71%
メネット	8名			
コメット	1名			
ゲスト	1名			
ビジター	1名			
新 人	2名			
合 計	31名	14名		

- ・特別ゲスト 横山慶昭中西部長
- ・ビジター 中世古為幹君(大阪クラブ)
- ・メネット 黒田、柴田、鈴木、田中、谷川、森、山田、山中各メネット
- ・コメット 柴田佳苗さん
- ・新 人 浦野啓一君(2回) 松本常晃君(2回)
- ・ニコニコ 20,000円(HHキャンプへ献金)

▽転出されました

森田 誠君は5月より東京クラブへ転入会されました。
 住所 〒244横浜市戸塚区前田町502-4
 オリエンタリース東戸塚ハイイツ106号
 勤務先 東京都港区浜松町2-4-1 貿易センタービル
 オリエンタリース(株)

▽退会されました

大野公聖君は業務多忙にて出席不能の為退会されました。

今月の聖句によせて

黒田 敏之

聖書の中に「聖書」という言葉は24回出て来ますが、このティモテオスへの第2の手紙に出てくる言葉は、もっともよく聖書の内容を教えていると思います。

個人の尊重、人間の尊厳性を認め合う現代の民主主義の原動力となったキリスト教が、すべて聖書にもとづいていることに思いをはせ、私どもの行動の指針としたいものです。

ちなみに聖書には旧約聖書と新約聖書があります。時々間違っって旧訳・新訳聖書と書く人がありますが、「約」とは神と人との契約を意味し、イエス・キリストの降誕以後は、神と人との間の新しい契約という意味で新約聖書と呼びます。新しく訳されたという意味ではありません。

新会館で「メネットライフの喜び」を聴く — 4月例会
横山中西部長の公式訪問をお受けした4月例会は、真新しい大阪YMCA会館9階集会室での初会合となった。司会を務める正司泰子姉のあでやかでよくとおるメソソプラノが、明るく清潔な会場の雰囲気ピッタリ。“Once More We Stand”とワイズソングの後、聖句朗読、ゲスト紹介に続いて今宵の特別ゲスト横山中西部長からのご挨拶。「中西部長として常に15クラブのことをのみ考える一年であった。すべての会合に欠席しない様頑張って111回出席したことになる。3日に一度はワイズに出たわけである。勿論自分本来の仕事はきちんと片付けてからワイズをやることにも心がけたつもり。それというのも、何かにつけてまわりのワイズメンの温かいお力添えに支えられたからであり、“ワイズメンズクラブは友達のクラブ”ということを実感し、一生の思い出となる喜びを体験でき感謝しています。みなさんもぜひ一度会長をやって、ワイズのすばらしさ、喜びを実体験して下さい」と述べられた。

YMCAレストランのディナーの後、「ワイズメネットの月」にちなんで、センテニアルが誇るファーストレディ鈴木美藤メネットの卓話が始まる。「ワイズメネットは、愛らしく、美しく、それでいて力強くありたいもの」と、誰をも温かく包み込むようなお人柄をそのままに飾らぬお話しぶり。メンもメネットも思い思いにうなずきながら聴き入る。時折り鈴木メンより応援のヤジが飛ぶといった、ほゞえましい風景に会場全体がなごやかな笑いに包まれる。まさにセンテニアル一家そのものの雰囲気となる。

この後、藤井君から出席のメネットヘインタビュー。「あなたはメネットとして3つのうちもっともどれに近いと思うか」との質問に、意外や意外“力強いメネット”という答えが多く、居並ぶメンメンもどう受け止めるべきか複雑な表情となる。「昼間は力強く、夜は愛らしく」と正司姉のそつのないお返事にホッとした所で、会はいよいよ大詰め。ニコニコ資金は“聴覚障害青少年国際キャンプ”への献金にすることとし、集まった20,000円にクラブより15,000円を加えて合計35,000円を横山中西部長に託し有意義な理解と奉仕の一夕を閉会した。

〈鋭視野・ASIA〉

飢え広がるアフリカ(2) —

荒れた農村、抵抗力なく

アフリカの国々で天候や病気の影響が深刻になっている背景には“農村の貧困”がある。財政的に農産物の買入れ価格を引き上げる力がないことで農業の魅力が薄れたり、独立後、工業中心の国づくりが進められたことなどから、各国で農村人口の都市への流出現象が起きた。1960年代には都市部の人口は全人口の10人に1人の比率だったものが、現在は5人に1人となっている。そして、適切な農業開発政策もないまま放置された農村は自然の脅威に抵抗力を失っている。

加えて、人口増加や内戦、部族対立が食糧不足を加速している。70年代のアフリカの人口増加率は年平均3%と途上国平均の2.4%を大きく上回った。一方、同じ時期の食糧生産は同1.8%の伸びにとどまった。80年代の平均人口増加率も年平均3%を超えると推定されている。

またアフリカ諸国の内戦や部族対立は枚挙にいとまがなく、農地の荒廃、生産活動の停滞は深刻である。

(日本経済新聞より転載)

第2例会の記録 — 4月25日(水) 奉仕センター

1. 5月例会プログラムの決定 (1ページ参照)
2. 6月例会は、ハワイヌアヌクラブ訪問、日本区大会参加の報告と国際大会出席者の壮行、およびクラブ役員の新旧交代式で構成する。許されるなら横山中西部長のご出席をお願いする。好評のドア・プライズも実施。
3. オーストラリアよりMr. Dale Potheringham がBF代表として、Jean夫人同伴にて来日される。6月17日に大阪入りし20日(水)のセンテニアル例会に公式訪問の予定。歓迎しましょう。
4. 7月22日(日)又は29日(日)のいずれか一日、YMCA六甲研修センターにて、センテニアル・ファミリーキャンプを計画することを決定。お楽しみに。
5. センテニアルから日本区大会への出席登録は、現在のところ谷川夫妻、田中夫妻、鈴木夫妻、杉本、藤井、安福、山中となっているが、さらに参加を勧奨する。
6. ハワイ訪問チームは、正司夫妻、森夫妻、中村、松添が確定している。こちら10名位は行きたいもの。
7. 大野公聖君が業務多忙で出席見込が立たず退会申し出される。森田誠君は転勤に伴いメネットも転居され、5月より東京クラブに転入会したいとの意向。いずれも事情止むなしとして4月末で除籍を承認。在籍会員32名となる。
8. 次年度センテニアルクラブ事業委員の役割を決定。
9. 中西部主催、新役員研修会が6月9日(土)14時~17時、大阪南YMCAにて開催される。新四役ならびに事業委員はぜひ共参加し、役割の理解学習に勉めること。

かわいく、美しく、力強く!!

関西合同メネット会 開かる

とき 1984年4月20日(金)
ところ 大阪YMCA



前夜来の激しい雨もからりとあがり、新装なった大阪YMCA 10階チャペルにて、総勢167名ものメネットの参加を得て、関西合同メネット会は定刻どおり開会されました。

第I部のプログラムは森田好子姉(千里)の司会で進められましたが、我がセンテニアルのメネットは中でも奏楽が谷川有美子メネット、聖書朗読を黒田俊子メネット、開会挨拶は鈴木美藤メネットとそれぞれがその大役を見事に果し、満場の方々から暖い拍手がおくられました。又プログラムの中で大阪5ワイズメネットの初代会長をつとめられました江藤幹枝姉(大阪)による「20周年の回顧」のお話は、そのお年(80才とうけたまわりました)からはとても想像できないほど熱気とユーモアに溢れたもので、後に続く若き(?)メネット達へ大きなよい刺激となった様でございます。



第II部は同階集会室において全員揃って感謝の昼食をいただいた後、北之坊恵子姉(豊中)の司会で参加クラブの紹介があり交流を温めました。

続いて再びチャペルに会場を移し、大阪千里クラブ会長で吹田市医師会副会長でいらっしゃいます菱川晋三郎氏による「成人病と健康診査」の講演を伺い、人間の幸福の根元である健康を保つにはどうすればよいかを学びました。

閉会后集会室に用意されたコーヒーとケーキで、歓談し三三五五帰路につきました。

我がセンテニアルのメネット会は、この度千里、豊中メネットとご一緒にホスト役の当番ということで、鈴木、山中メネットを中心に、はじめてのことばかりのお手伝いをさせていただきましたが、「メネットもまず参加することに大きな意義がある」ということを実感いたしました。当日の参加者は、黒田、柴田、鈴木、谷川、田中、長安、山田、山中の8名のメネットでしたが、この参加体験を他のメネットさんに語り掛けて、集い合う喜びと理解の輪を一層広げたいと痛感した次第でございます。(山田道子記)

なお当日会場で、ひとことずつ感想を頂きましたのでご紹介いたします。

(初代メネット会長、江藤幹枝姉)

関西合同メネット会が新築なった大阪YMCAのチャペルでひらかれとてもうれしうございます。日本にメネット会が結成されて23年になりますが、その間こんなに大勢のメンバーに増えたことにただただびっくりいたしております。これはこの会が内容よき活動をしているからだと思えます。メネット会が自分自身を育てるのに役立ち、皆の力を合わせると大きなよい仕事ができることを知る会になってほしいと思えます。



(日本区メネット事業主任 露崎昌枝姉)

大へんな驚きです。新館チャペルにメネットが167名も集まれ、まさに日本区大会のメネットアワーそのものです。すべてがよく準備されメネットパワーは素晴らしいの一言です。江藤メネットの「美しく、小さくかわいい者」のお話は江藤メネットその人ご自身でした。メンの奉仕活動を支える力は、メネットの親睦の輪の拡がりであり交流であることを、あらためて深く感じさせられました。

(和歌山クラブ 市川美智子姉)

立派な会館で多数の参加を素晴らしい嬉しく思いました。大阪メネット会20年の歴史をお聞きし、年々に進歩し大きくワイズメンの支えとなって歩いて来た事に感激しました。菱川先生のお話も楽しく伺い、意義ある一日を過ごさせていただきました。ホストクラブの皆様本当にごころうさまでした。ありがとうございます。

(黒田メネット)

前日の雨に洗われて清々しく迎えた合同メネット会も167名の参加を得て盛会裡に終了でき感謝いたします。

江藤姉によるメネット会発足当時のお話は興味深く、日本区事業主任のお話にはいろいろ刺激を受けました。今後ささやかながら自分に出来ることをさせて頂こうと決意を新たにいたしました。



(柴田メネット)

これからも楽しい会になる様に努力したいと思います。

(鈴木メネット)

ホストクラブとして167名という多数をお迎え出来て本当に嬉しく思います。大阪5ワイズメネット初代会長江藤幹枝メネットが、ご苦労話に添えてメンの後で“かわいく美しく”ついていくのがメネットですと話され、それは80才をお迎えになったやさしい江藤メネットご自身のことでもあると感銘を受けました。

(谷川メネット)

160名以上のかわいい貴婦人の集まった大盛会の関西合同メネット会でした。メネットはメンに寄り添って、かわいくそして力強くそれを支えて行く使命を担っていること。多くのメネットと知り合いになったり、長老メネット、それも本年80才の江藤メネットのお話をお聞きして感じたことは、年令に拘らずなんでもやってみようという精神を持ち続けてこれたからこそ、80才とはとても思えない若々しさをお持ちなのだを知り、年をとることはいいことだと力強く思わされたことでした。

(田中メネット)

合同メネット会に出席させて頂きましたのは今回で2回目でございます。少しお手伝いさせて頂きましたが大変なことだと思いました。遠方より参加された方も多く、なつかしい方々にお逢い出来て大変うれしかったです。明るく楽しい雰囲気の中で過ごしました一日を感謝いたします。ホストクラブの皆様どうもありがとうございました。

(長安メネット)

この会に出席してあらためて、心やさしく、かわいく、力強くメンを応援していきたいと思いました。

(山中メネット)

チャーターして一年余りしか経ていないのに、千里・豊中の先輩の方々に色々手をとって教えて頂きながらホスト役の当番をさせて頂きました。そして本日関西合同メネット会も無事終えることが出来、ホッとしております。何もわからないままやって参りましたが、会に出席する毎に少しずつ理解出来る様になり、“何事も出席することに意義がある”ことを痛感しております。

東京、近江八幡、京都等々遠方からのお客様とご一緒に和気あいあいにぎやかに過ごしました。これもまたワイズメネットの特典でしょうか。ありがとうございました。

「メネットライフの喜び」

— 鈴木美藤メネットの4月例会スピーチより —

- ◎ 私がメネットとして初めてワイズの大会に参加したのは、昭和26年5月の金沢での第6回日本区大会です。この時が初めてメネット同伴の大会でメン110名に対し20名のメネットが参加しました。私は小さな子供を連れており唯一のコメットでありました。東から西から集まった人々がワイズメンというだけですぐに親しみをもって心の触れ合うものを感じ、ワイズへの理解を新たにしました。
- ◎ 昭和31年カナダのフレデリクトンの国際大会に初参加。この時初めは年寄や子供を残して行くことにちゅうちょし、飛行機に乗ってもまだ迷っていたものです。しかし向うに着いて迎えに来て下さった人が、とても行き届いたお世話をして下さり、英語といえば YesとNo と Thank you ぐらいしか云えない私に何の不安も感じさせないほどでした。本当に感謝感謝の体験で、今でも私はこの時のお返しをするのだという気持ちで、日本を訪ねて来る人達に接しております。
- ◎ このようにワイズの会合に一つ一つ参加する都度、自分も何かしなければということを感じていったものです。又メンと共にワイズに出て見て初めてワイズのよさの認識を深めたり、目で見、耳で聞いて、手に触れながらワイズは理解するものだと思います。
- ◎ わかってから出るのではなく、まず出ることによって理解が深まるし、喜びも増すことになります。“ワイズは出ることに意味がある”と信じて、クラブ例会から部会へ、日本区大会、アジア大会、国際大会へと舞台を拡げて下さい。人の出会いの輪もどんどん広がってますます生きる喜びが深く大きくなるものです。
- ◎ 子供さんの小さい方にとって、それを犠牲にしてまではとお思いの向きもありませんが、自分の親達がこのような会で生き生きしている所を、見せておくことも意味があるのではないかと思います。
- ◎ メネットという言葉は「かわいい」という意味がこめられているようですが、ただかわいいとか美しいだけでなく、力強いメネットとしての活動もしたいものです。ワイズの喜びはやって見て実感するものと申しましたがみなさんが何かの役割を進んで引き受け、その活動を通して得た自分の喜びを、次の人に語り継ぎ、引き継いでいくことが大切でしょう。みんなで知恵を出し合い協力し合ってこそ力強いメネットになる根本だと考えます。



§ 一枚の写真 §

ワイズ交友録 V 鈴木 謙介

第49代 I.P. ハリー・カミングス君(ミネソタ州セントポール・ミッドウェイクラブ、サン生命保険支社長)が、わがクラブの次期会長中村隆幸ドクターと共に我等の部屋を夜遅く襲ってきた。どうもベッドの上に座りこんでいたようだが、わがメネットはサービスよろしく夜着姿でおつき合いというちょっと面白い、1976年アナハイム国際大会での写真をこゝでお目にかけることとする。



カミングス君は私の一代前の I.P. で1974年ワシントン大会以来深く交友をしている。生粋のアメリカの若いビジネスマン流儀をワイズに持込もうとして四苦八苦した。私に同調を求めたし、大いに指導せんとしたが反応が鈍かったのでヤキモキしたらしい。彼のとき新憲法を施行したから国際ワイズは多事多難だったが、若さと力でキリキリ働いた良き I.P. の一人であった。こういうアメリカのエネルギーは伝統のもので「プッシュ型」というが東洋の風土にはちょっと合わぬところもある。今夏グランドラビッツ大会には、目下家を売却に出し新築にかゝっているので欠席するといって来た。私共二人は大会のあとミネアポリス・セントポール(Twin City)を30年ぶりに訪れ1~2週間滞在するのでその Primary Host を引受けてくれる。要妻はジーネット、4人の娘のうち不幸にもGail という子が事故死した。

メネットの歴史をひとこと

鈴木 美藤

ワイズの歴史書によると最初のメネットクラブが発足したのは1924年(大正13年)カナダ、バンクーバーだったそうです。残念にも今にはワイズは姿を消していますが、1931年クリーブランド大会(こゝに奈良・三井両氏が日本から初めて参加)でワイズメネットを正式にとりあげその結成を奨励する決議がなされました。このときから国際大会ではメネットプログラムが分離して行われるようになりました。1944年にメネットクラブの国際協会が発足しています。1957年ワイズ憲法の中に「ワイズメンの援軍」と規定されました。現在は世界各国にメネットクラブが多数存在していますが、その仕事は募金・社会奉仕・国際奉仕・YMCAへの奉仕が主です。婦人でなければ出来ぬ働きがよく行われています。北米ではキャンプ事業への援助、クリスマスツリーの販売などに大きい業績が示されているとのこと。日本では戦前すでにメネットという言葉

葉は用いられましたが実際的には1951年(昭和26年)金沢の区大会に初めてメネットが10数名同伴してメネットだけの話し合いが行われて自覚が高まり、各地にメネットの働きが目立ち、1963年大阪合同メネット会、1965年神戸に第1号メネットクラブが発足しました。江頭、富尾、笈川、坂村、奈良、福尾、抱井、桜内、窪田、尾関、柳原、今村、前田、橋本、露崎の各姉の他多くの熱心なメネットリーダーが活躍しておられます。

センテニアル クラブの皆様

ずいぶんごぶさたしておりますが皆様にはお元気で御活躍のことと存じます。私共が横浜へ移りまして3週間が過ぎようとしております。こちらは昨日ようやく桜前線が通過いたしました。造幣局の通り抜けをなつかしく思う毎日です。まだ横浜という街をほとんど知らないのだから皆様に報告のしようもないのですが、私共のおります東戸塚という所は国鉄横須賀線で東京から40分ほど乗った所で、数年前までは山の中だったらしく、東戸塚という駅も土地を開発するために去年作られたのだそうです。駅だけは立派なのですが、周辺はまだ何もなくて、申し訳程度にスーパーマーケットが一軒あるくらいです。2年後に西武デパートが出来ると聞いておりますが、私共が次の転勤で出て行く頃にごっと開けるのではないかと思います。主人は開発前の千里ニュータウンみたいだと申しております。買い物などは電車で隣の戸塚まで行き、ごっそり買いだめするようにしています。箕面の田舎から脱出し、シティギャルになれると信じていた私は大きくあてがはずれ、ふてくされている毎日です。でも、ようやく家の方も片づいてきましたし、陽気もよくなってまいりましたので、これから横浜、東京を攻めていこうかと思っております。

さて、ワイズメンの方ですが、西村様よりおさそい頂き、東京クラブにお世話になることに決めたようです。5月に入会式をしていただけるらしいのでその時は私も出席するつもりです。

最後になりましたが、私共がこちらにおります間に皆様、ぜひ遊びにいらして下さい。横浜の港や中華街などへは40分ほどですし、鎌倉までは30分とかかりません。冬は寒く、東京より3℃位低いそうですので、春から夏にかけていらして頂ければよいのではないかと存じます。かといって全員でツアーを組んで来られても泊っていただく場所がありませんので、4~5名ずつ順番に来ていただければよいのではないのでしょうか。お待ちしております。ではまたお目にかかれる日を楽しみに、皆様の御健康と一層の御活躍をお祈り申し上げます。

かしこ

1984. 4. 12

森田 一美



• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

▽NEWS IN BRIEF

◎和歌山紀の川クラブ誕生

去る4月15日(日)和歌山YMCAに於て和歌山紀の川クラブの設立総会が開催され、新クラブ設立経過報告の確認、クラブ会則の審議決定、25名全メンバーの署名など一連の手続を終え無事誕生しました。

当日は田中日本区理事はじめ112名のメン・メネットが出席して、心からその誕生を祝うと共に新クラブの前途に励ましの言葉を送りました。

スポンサーの和歌山クラブは歴史と伝統を誇るクラブでありながら、一時は在籍メンバーが6名まで落ち込みその存続さえ危ぶまれるということもあったが、昨年は日本区最優秀クラブとして表彰の栄に輝き見事立ち直りを見せました。同クラブチャーター35周年記念事業の一環として新しいクラブ誕生を目標に全員の並々ならぬ努力の末、メンバー数を41名まで増強の上今回そのうち17名を新クラブのキーマンとして送り出したもの。その実行力を高く評価し、敬意を表したいと思えます。(杉本恭之助 記)

◎和歌山紀の川クラブ、チャーターナイトの予告

8月19日(日)14:00~17:00 和歌山紀の国会館
会費 メン・メネット7,000円、コメット4,000円
センチニアルからも出来る限り大勢繰り出して「紀の川丸」の船出を寿ぎたいものです。

▽NEWS IN BRIEF

◎大阪千里クラブ10周年例会ご案内

6月16日(土)14:30~17:00 YMCA会館10F
記念講演「インカ帝国」国立民族博物館 大給近達教授
ビジター会費無料 — 出席ご希望は河野書記まで。

◎大阪堺クラブ5月例会ご案内

台南クラブ・釜山IOTAクラブ・堺クラブのトライアングルIBCの合同例会を開催します。

5月31日(木)18:30~20:30 大阪YMCA会館
会費は3,500円 — 出席ご希望は河野書記まで。

◎第1回韓国YMCA少年交流キャンプご案内

大阪北YMCAでは韓国YMCAの協力のもと、小・中学生の韓国訪問・キャンプ、遺跡見学等の交流を行います。

期間 7月22日(日)~29日(日)

資格 大阪YMCAに在籍する小学4年~中学2年男女
定員 約15名(10名未満の場合は中止)

プログラム ◎済州島キャンプ ◎大邱・慶州遺跡見学
◎ソウル市内見学・民泊・交歓会

費用 12才以上109,000円。12才未満99,000円
申込 5月31日(木)締切り。

問合せ 大阪北YMCA青少年活動 06-855-2828

◎台湾ワイズ、新大阪YMCA会館を訪問

台湾高尾のワイズメン6名が、4月13日神戸YMCAの総主事新旧交代式に出席のため来神。17日には大阪YMCA会館にて宇野総主事主催の昼食会に出席。谷川君も同席。

◎会員消息

▽阪田一夫君「5月位から出席できる様になると思います。4月一ぱいでコバルト照射一年になりますので体調も時候とともにimproveのつもり」とお便りあり。

▽田中穰二君 長男の信裕君が中学ご入学。

▽藤井保男君 かしこい長女の三奈さんも中学ご入学。 - 6 -

1984年度センチニアル事業委員分担表

1. B F ◦皆本・桂、中村、岡本
2. ブリテン ◦河野・藤本、川越、谷川
3. YMCA サービス ◦平田・中川、照屋
4. EMC ◦山村・杉本、正司
5. C S ◦上月・藤井、坂口
6. IBC ◦松添・森、長安、瀬戸
7. YEEP ◦安福・横山、谷川
8. ASF ◦山中・柴田、阪田
9. プログラム ◦山田・山中、鈴木、谷川
10. ファンド ◦黒田・堀、鈴木、杉本、山村
11. MET ◦正司・山田
12. ドライバー ◦藤井・西出、中川

IBC-NUUANU Y's UP より

◎BROTHER CLUB NEWS- OSAKA CENTENNIAL

Congratulation is in order for Kan Tanikawa of the Osaka Centennial Club to be re-elected as one of ICM's to represent the Asia area for 1984-87.

There is no final count as yet as to the number coming to the Hawaiian Region Convention, but word has come that at the least 6 members including family members can be expected.

◎1984~85 CLUB OFFICER ELECTED /

At the last club meeting, President GLENN MATSUKAWA, as a one-man nominating committee, presented the following slate of officers to the membership:

PRESIDENT	JOHN SCHEEL
VICE PRESIDENT	ELDON MACARAYAN
SECRETARY	PHYLLIS SAKANE
TREASURER	JAMES OUCHI

—<YMCAニュース>—

▽YMCA協力会費納入についてお願い

4月のブルティンにもありますように、ワイズメンはYMCAの会員であることと規定されています。4月初旬に必要な書類をお送りいたしましたので、ご登録の程お願い申し上げます。

▽サラワク・イバン族青年指導者歓迎会

本年3月、昨年に引続いて、YMCAの大学生リーダー12名がサラワク州シブを2週間訪れ、イバンの人々との生活体験、シブYMCA(中国系マレーシア人を中心とした活動)と交流しました。その報告会が既報の如く4月28日に開かれますが、先方の世話役を引受けられたイバン族のアジャさんが研修のため来日しますので、5月15日(火)夕6時半より奉仕センターで歓迎交流会を開きます。

ご出席をお待ちします。